

「信金の日」地域に感謝

多治見市など 東濃信金職員ら清掃



ごみを拾う東濃信用金庫の職員や子ども
＝多治見市新町

15日の「信用金庫の日」に合わせ、東濃信用金庫(市原好二理事長)の職員と家族約790人が、多治見市や土岐市など支店がある地域で清掃活動をした。

各支店がある地域の公園や駅、国道沿いを約2時間かけて掃除した。多治見市の土岐川の河川敷には本店営業部や周辺支店の職員ら

約100人が集まった。10人前後のグループに分かれて両岸を歩き、落ち葉やごみを拾って川をきれいにした。

1951年6月15日に信用金庫法が施行され、翌年の全国信用金庫大会で6月15日を信用金庫の日と定めることが決まった。東濃信金はこの日に合わせて清掃活動を毎年行い、今回で23回目。
(山本貴史)